湖南市市勢要覧

湖南

きらめきつなぐまち

自然と歴史に囲まれた
湖南市
きらめきの
風景

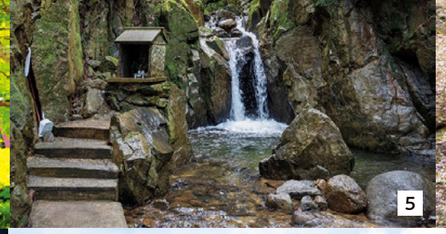
水と緑に囲まれた自然豊かな湖南市。
人々の憩いにぬくもりを添える桜をはじめ、
水面が美しい川辺、緑あふれる空間など
古くから地域に愛され、守られてきた風景は
今も変わることなくきらめき続けています。

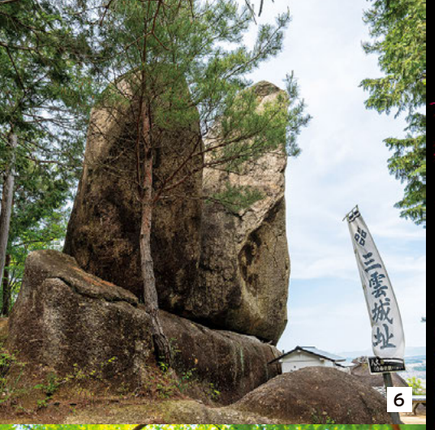
1

2

3

4


5



6

7

8

9

10

3

5. 落差約5m、神秘的な雰囲気が漂う「行者不動の滝」　6.「落ちない岩」として、多くの人が合格祈願に訪れる「八丈岩」　7. 訪れる人々の心を和ましつなぐ「長壽寺の青もみじ」　8. 連続テレビ小説のロケーションとなった、三雲城跡から見るまちの全景　9. 本堂を幻想的に照らす善水寺の「千灯会」　10. 国宝の古刹に映える常楽寺の紅葉

1. 石部の丘陵地にあり、地元の人に愛される「じゅらくの里」の桜　2. 鈴鹿山脈を水源とし、豊かな恵みを与えてくれる県下最大級の河川「野洲川」　3. 唯一無二。まちの至宝たる天然記念物「平松のウツクシマツ自生地」　4. 湖南市夏まつりのフィナーレを彩る花火大会

2

きらめきⅠ

人とまちとの支え合い

福祉

よく気にかけてくれるご近所さん、
何でも相談できる幅広い世代の人たち…
支え合いながらのびのびと暮らしています。

糸賀一雄（1914-1968）

障がい福祉の父

日本の障がい福祉の先駆者として名を残す糸賀一雄氏は、障がいのある子どもたちに教育の機会を与え、社会の一員として自立できる道を拓きました。湖南市には、そんな糸賀氏の考えに共鳴する福祉の実践者が集まり、地域に密着した福祉活動を展開しています。

糸賀氏は知的障害児施設「近江学園」の設立をはじめ、障がい福祉の基礎づくりに多大な業績を残しました。

子育て支援センター

年齢・性別にかかわらず全ての人が支え合う

湖南市では、全国的にも早くから福祉のまちづくりに取り組み、近年も先進的な福祉施策を進めています。その根底にあるのは、一人ひとりが「ぬくもり」と「安心」と「希望」に満ちたまちづくりであること。高齢者や障がいのある人、子育て家庭、外国籍の人など、地域で暮らす全ての人をもらすことなく支援するため、地域のつながりや助け合い、支え合いを基盤とした支援の仕組みづくりを整えています。

安心応援ハウス

地域の身近な場所で催されるサロン活動で、高齢者が気軽に集い、寝たきり防止や認知症予防、生きがいづくりを行う拠点となっています。

いきいき百歳体操

参加者からは、「杖なしで歩くことができるようになった!」「体の痛みがましになった!」などの声が寄せられています。

地域包括支援センター

高齢者の介護や認知症、権利擁護や介護予防、生活の困りごとなど、さまざまな相談に対する総合相談窓口です。

こども家庭センター まるっと

妊娠期から子育て期の困りごとをまるっと支援する相談窓口です。

こどもの居場所・遊び場

地域の中で子どもが気軽に集い、さまざまな人とのかかわりを通じて「自分の居場所」を感じられるよう、健やかな育ちと学びを支えています。

きらめきバトン

糸賀一雄の精神を受け継ぐ発達支援システム

湖南市発達支援システムは、支援の必要な人に対し、乳幼児期から就労期まで保健・福祉・医療・教育・就労の関係機関が連携し、個に応じた支援の実施と、自立に向けた相談ができる仕組みです。療育や本人・保護者の相談、就労支援など、それぞれのステージでのチャレンジをサポートしています。

きらめき I

人とまちとの支え合い

多文化共生

「いろんな文化が響きあう
一人ひとりが笑顔でいられるまち 湖南」をめざし
多文化共生社会の推進に取り組んでいます。

互いの文化・人権を認め共に生きていくために

湖南市は外国人市民の比率が県内市町で最も高いまちです（令和5年／6・98%）。国別ではブラジル、ベトナム、ペルーの順に多く、30を超える国の外国人市民が地域住民の一員として共に生活しています。市では、令和4年に「湖南市多文化共生推進プラン With KONAN Plan三」を策定し、「交流から理解へ」「理解から協働へ」「協働から創造へ」とつながるような多文化共生社会をめざしています。

多言語での窓口対応

外国人市民に制度や手続きなどを正しく説明するため、市役所の窓口に通訳を配置しています。また、自動翻訳機を活用し、さまざまな言語でも対応しています。

きらめきバトン

「交流から理解へ」ワールドフェスタこなん

さまざまな国の文化体験と市民の交流を目的として湖南市国際協会が開催する「ワールドフェスタこなん」では、国際色豊かなステージや世界の料理を楽しむことができます。国籍や民族にかかわらず、全ての市民が交流し、理解し合える地域をめざし、取り組んでいます。

ブラジルの伝統武術「カポエイラ」

多文化共生の第一歩

日本語初期指導教室「さくら教室」では、日本語指導が必要な子どもが安心して学習活動に参加し、生活ができるよう、日本語の基礎や日本の文化を教えています。また、湖南市国際協会主催の外国語クラブでは、言語だけでなく、その国の文化や習慣なども楽しく学んでいます。

さくら教室

外国語クラブ

教育

学校・家庭・地域の協働により
子どもたちを見守る学校教育を推進。
「楽しくて力のつく湖南市教育」がテーマです。

小さな詩人たち（左）
音読集『ことばの宝石箱』（右）

ICTを活用した教育

これまでの教育実践の蓄積にICTの活用を掛け合わせ、学習活動の一層の充実や、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業づくりに取り組んでいます。

ことばの教育

子どものことばの豊かさを育むため、音読集『ことばの宝石箱』の暗唱や群読の他、「湖南市の小さな詩人たち事業」で詩や短歌を作っています。

楽しくて力のつく教育で未来を育てる

湖南市の小中学校では、明日を担う子どもを育てるため「楽しくて力のつく湖南市教育～子どもの夢を育て、生きる力の根っこを太くする～」をスローガンに学校教育に取り組んでいます。「湖南市教育三方よし（子どもよし、保護者よし、地域よし）」という、三方ともに満足のいく教育をめざすとともに、「学びの保障」「仲間づくり」「ふるさと意識の醸成」を三本柱に、子どもの自尊感情を育んでいます。

コミュニティ・スクール

市内全小中学校がコミュニティ・スクールに指定され、学校と保護者や地域住民が知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させています。

快適な学習環境をつくる

子どもの成長を伸ばすためにも欠かせないのが教育環境の充実です。整備が必要な教育施設の計画的な改修や情報通信技術を活用した設備の導入など、学習効果を高める環境の整備を推進しています。

新校舎建築

トイレ洋式化

空調機整備

きらめきII

持続可能なまちづくり

脱炭素

「さりげない支えあいのまちづくり オール湖南で取り組む脱炭素化プロジェクト」持続可能なより良い未来のため取り組んでいます。

美しい湖南市を未来へとつなぐ

地球温暖化による気候変動に伴い、環境のさまざまな影響が懸念される中、湖南市は令和4年11月に脱炭素先行地域に選定され、国が宣言した2050年カーボンニュートラルの実現に向けて取り組んでいます。脱炭素先行地域づくり事業のもと、再エネ設備の導入や脱炭素に関する地域課題の解決などを進めています。

脱炭素先行地域に選定

令和2年、内閣府から「SDGs未来都市」に選定後、「ゼロカーボンシティ宣言」を公表。その後、第2回脱炭素先行地域に選定されました。

湖南市のSDGs

こなんSDGsカレッジ

SDGs未来都市の推進として、地域未来のロールモデルとなる若者が主体的に継続してまちづくりに参画できる仕組みづくりを進めています。

コナン市民共同発電所

市民からの出資を主体とした「コナン市民共同発電所」を設置。発電所で得られる売電益を地域商品券で配当し、地域活性化に取り組んでいます。

林福連携の取組

林業事業者と福祉作業所などの連携による木質バイオマス燃料の製造を進め、障がいのある人の雇用や指導員の育成などに取り組んでいます。

自然

野洲川の流れに沿う美しい郷土。
水と緑を大切にし、
自然と調和したまちづくりを進めています。

自然に囲まれた豊かな風景

水と緑、山と川、自然に恵まれた土地の湖南市は、野洲川付近一帯に平地が開け、山際には丘陵と山林がなだらかに形成しています。市では、「野洲川の清流 山々の景色 歴史が育むうつくし湖南」を環境未来像に定め、広域的・長期的に自然環境を守る施策を進めています。

平松のウツクシマツ自生地

国の天然記念物に指定されており、根元近くから幹が複数に分かれた美形の極めて珍しい松が群生しています。

きらめきバトン

歴史と伝統を未来につなぐ
国指定天然記念物
平松のウツクシマツ自生地保存活用計画

この計画は、現在まで保存されてきた国の天然記念物である平松のウツクシマツ自生地の価値を将来へ継承していくために策定しました。市では、この計画に基づき、自生地の環境整備をしています。

湖南市の自然環境

市域は南側の阿星山系と北側の岩根山系にはさまれ、緑豊かな平地が広がっています。また、市の中央を流れる野洲川は、市を代表するシンボルとして市民に親しまれています。

岩根山(十二坊)

野洲川(石部頭首工)

きらめき III

歴史文化の薫り

歴史文化

国宝の名刹や古刹が点在し、
歴史情緒あふれる宿場町の風景が広がる。
知られざる名所の数々と出会えます。

歴史と文化が薫る伝統のきらめき

数多くの寺社仏閣が点在する湖南市。中でも、常楽寺・長壽寺・善水寺を「湖南三山」と呼んでいます。いずれの寺にも国宝に指定されている建造物がある他、常楽寺は千手観世音菩薩、長壽寺は子安地蔵菩薩、善水寺は薬師瑠璃光如来といった秘仏をご本尊としています。また、石部宿は「京立ち、石部泊まり」といわれ、江戸・伊勢へと向かう多くの旅人でにぎわった東海道五十三次の51番目の宿場で、現在は本陣跡や高札場跡などが残り、風情ある旧街道がたたずんでいます。

天保義民碑

明治維新のきっかけとなったともいわれる、4万人の農民による天保一揆の義挙を後世に伝えようと、伝芳山に建立されています。高さ約10mを誇る立派な義民碑です。

きらめきバトン

湖南市伝統の行事を次の世代へとつなぐ

市内には、「鬼走り」や「勧請縄吊」「ぼんのこへんのこ祭」など多くの伝統行事が残されています。長壽寺では、地元の小学校の児童に「鬼走り」の体験をしてもらうなど、伝統行事を次の世代につなぐための工夫をされています。

石部宿 田楽茶屋

安藤広重が描いた田楽茶屋をもとに再現された休憩所。東海道を歩く旅人や地域の人に飲食を提供しています。

三雲城跡

室町時代後期、三雲典膳が築城したと伝えられる山城跡。八丈岩と呼ばれる巨大な岩や石垣が残り、美しい眺望を楽しむことができます。

大沙川隧道

明治17年に建設された大沙川隧道は、建設当初の位置で現存する現役の石造道路隧道としては日本最古のものです。

磨崖不動明王尊

岩根山の中腹の絶壁に刻まれ、渓谷を隔てた道からでもそのスケールの大きさがはっきりわかるほどの巨大な石仏です。

きらめきⅣ
湖南市の未来を創る

産業

近畿と中部、北陸をつなぐ広域交流拠点として県内最大級の湖南工業団地を有しており工業のまちとして発展しています。

全ての人がきらめく活気あふれる産業

滋賀県南部に位置する湖南市は、大阪や名古屋から100㎞圏内にあることを強みとし、古くから街道を中心に産業や文化が栄えてきました。有利な立地条件を利用して湖南工業団地が造成され、ものづくり産業が集積しています。また、農林業や商業など、その他の産業も共に地域経済を支えています。

友好交流・観光交流事業

北海道比布町・鳥取県北栄町とは友好交流の協定を、高知県室戸市や東洋町とは観光交流の協定をそれぞれ締結しています。

石部駅周辺整備事業

駅舎のバリアフリー工事や南北に通じる自由通路の整備など、市の西の玄関口が生まれ変わります。

湖南市 伝統の逸品

近江一閑張

塗り工程で「柿渋」を用いています。素材に紙紐を使い、丈夫で軽く扱いやすいことが特徴です。

近江下田焼

藍色染料である「呉須」を用いることで鮮やかな藍色となります。シンプルな柄が特徴で、皿や湯飲茶碗などが創作されています。

正藍染

染め上がりは、光沢と堅牢さに独特の味を発揮しています。

地酒

湖南の地で古くから造られ、風雅な芳香と旨味が特徴で、多くの人に愛されています。

下田なす

皮がやわらかく、果実のような甘みが特徴で、特に漬物にするとおいしさが際立ちます。

ごぼう

「東寺献上ごぼう」と呼ばれ、ごぼう茶などの商品化が進められています。

朝国しょうが

「小しょうが」といわれる品種で、小ぶりで辛味が強いことが特徴です。

弥平とうがらし

辛さは鷹の爪の2倍もありながら、辛さの中に甘みと芳醇な香りが広がります。

ふるさと納税

近江牛・近江米・地酒をはじめ、寄附金額に応じて、さまざまな市の特産品を用意しています。

企業版ふるさと納税

「企業の力を、地域の力に」をテーマに、企業の協力により「若者のまちづくり」等を進めています。

湖南工業団地

滋賀県の東南部における工業振興の中核工業団地として、世界へ情報発信できる新しい企業団地づくりをめざしています。

きらめきバトン

全国へと広がる地域ブランド

湖南市の自然豊かな環境でストレスフリーに育つ「まるさん牧場」の近江牛や、滋賀県産の旬の野菜を使った、農家さんの愛情たっぷりの無添加ベビーフードなどが、ふるさと納税の返礼品として人気があります。

湖南市のまつり

満開の桜に心躍らせる「さくらまつり」や、野洲川親水公園で開催される夏の納涼祭・花火大会、宿場町の伝統と文化を後世に伝える秋まつりなど、たくさんの人が集います。

さくらまつり

夏まつり

秋まつり

きらめき Ⅳ

湖南市の未来を創る

まちづくり

市民一人ひとりのきらめく明日を願い、子育てや教育、産業振興、安心・安全などさまざまな施策を展開しています。

みんなで創り上げるきらめきのまち

市民や地域、企業や行政の協働によって、市民一人ひとりが、そして湖南市全体がきらめき続けられるよう、「みんなで創ろう」という思いのもと、まちづくりを進めています。

第二次湖南市総合計画では、まちの将来像を「ずっとここに暮らしたい！みんなで創ろうきらめき湖南」と定めています。さらに、「自立と協働のしくみ」「暮らしの創造」「まちの基盤」をまちづくりの視点とし、市民みんなが地域を磨き、輝きある湖南市を創造していきます。

きらめきバトン

地域の助け合いをカタチに 湖南市版小規模多機能自治

市では、各地域まちづくり協議会が自ら作成したコミュニティプランに基づき、主体的な地域運営に取り組んでいます。「湖南市版小規模多機能自治構想」は、4つの中学校区単位を生活圏域として、行政が提供する地域福祉などのサービスに加え、各「地域まちづくり協議会」などが主体となった地域福祉、地域防災などの支え合いの取組を推進するものです。

まちの将来像

ずっとここに暮らしたい！ みんなで創ろう きらめき湖南

まちづくりの3つの視点

- 自立と協働のしくみ
- 暮らしの創造
- まちの基盤

まちづくりの6つの目標

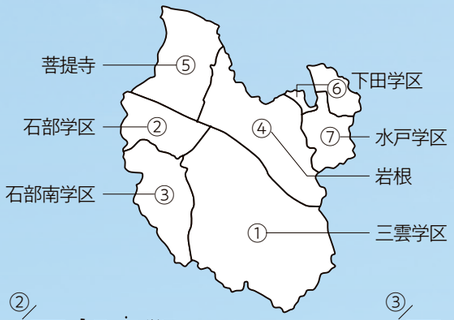
- みんなで共に進めるしくみをつくろう ～人権尊重と自立・自助、共助のまちづくり～
- うるおいのあるまちをつくろう ～自然を生かし、自然と共生するまちづくり～
- 活気あるまちをつくろう ～産業が集まり、人が集うまちづくり～
- ほっとする暮らしをつくろう ～生涯を通じた安心と健康のまちづくり～
- いきいきとした暮らしをつくろう ～誇りとなる市民文化を創造するまちづくり～
- 明日を拓くしくみをつくろう ～効率的・効果的な行財政システムづくり～

第二次湖南市総合計画

地域で支え合う

7つの地域 まちづくり協議会

市内小学校区ごとに「地域まちづくり協議会」が設立され、活動しています。「自分たちのまちは自分たちでつくる」という基本理念のもと、区や自治会では解決できない課題に取り組んでいます。



①三雲 学区 まちづくり協議会

高齢者や子どもたちを地域で支え合うまちづくりをめざします。各区でカフェを立ち上げ高齢者の居場所、夏休みの子どもたちのふれあいの場づくりにも取り組んでいます。 主な取組:東海道花いっぱい運動、健康講座、歴史探訪

②石部 学区 まちづくり協議会

住民同士が交流でき、高齢者が安心安全に暮らせる地域づくりや防災力の高い地域をめざします。また、地域の文化・歴史に誇りを持ち、継承する活動を行っています。 主な取組:宵闇ウォーク、防災訓練(まもりんピック)

③石部南 学区 まちづくり協議会

人にやさしく、環境や緑を守り、災害に強い、安心安全のまちづくりを進めます。また、持続可能で誰もが参加できる地域の仕組みづくりをめざします。 主な取組:子ども食堂の運営、防災避難訓練

④岩根 まちづくり協議会

誰もが交流し助け合い、安心して暮らせる地域をめざします。また、いつまでも住み続けたいと思える、高齢になっても楽しく暮らせるまちづくりを進めています。 主な取組:多世代交流会、未就学児の親子交流の居場所提供

⑤菩提寺 まちづくり協議会

住民交流が盛んで、支えあい、誰もが安心して暮らせる地域をめざします。また、地域の子ども達の家庭・学校に続く第3の居場所としてのこども食堂や交流の場としてのまち協カフェに取り組んでいます。 主な取組:支えあい活動、竹林整備、菩提寺歴史伝承

⑥下田 学区 まちづくり協議会

楽しく安心して暮らせる、助け合いの地域づくりをめざします。子どもから高齢者まで住み続けたい安心安全な活力のあるまちづくりを進めています。 主な取組:ちょこっとカフェ、介護予防(3A脳トレ教室)

⑦水戸 学区 まちづくり協議会

世代を超えてふれあえる住み続けたいまちをめざします。また、地域防災への取組を強化し、安心して暮らせるまちづくりを進めています。 主な取組:ささえあい活動(みーぼ号)、ひるずカフェ

協働のまちづくり

「湖南市地域まちづくりフォーラム」は、地域のみなさんと一緒に湖南市の新しい未来を描く場。市内の中学・高校生を中心に、地域資源を活かしたまちづくりのアイデアや活動内容を発表しています。

湖南市地域まちづくりフォーラム

市民活動プロジェクト応援ファンド

クラウドファンディングを活用してプロジェクトを実現するために、提案プロジェクトを市が公認し、支援を受けられるようサポートしています。

20年のきらめき

市制施行20周年の節目を迎え、
市民一人ひとりがきらめくまちづくりに
これからも取り組んでいきます。

2018 奈良県王寺町と災害時相互応援協定締結

2013 コナン市民共同発電所初号機発電開始

2010 甲西橋(市道甲西線)開通

2004 石部町と甲西町が合併し湖南市が誕生

2004 北海道比布町と友好交流提携盟約

2018 高知県室戸市・東洋町と観光交流協定締結

2019 湖南市魅力発信拠点施設「HAT」オープン

2013 岐阜県瑞浪市と災害時相互応援協定締結

2011 鳥取県北栄町と友好交流協定締結

2007 日本語初期指導教室「さくら教室」開設

2022 「銀座しのはら」店主 篠原武将さんを「湖南市ふるさと大使」に委嘱

2016 湖南市市民産業交流促進施設「ここぴあ」オープン

2016 国道1号栗東水口道路開通

2011 国道1号石部大橋(側道部)開通(菩提寺~石部)

2004 (平成16年)
- 10月 石部町と甲西町が合併し湖南市が誕生
- 12月 湖南市誕生式を挙行
- 北海道比布町と友好交流提携盟約

2005 (平成17年)
- 4月 東海道五十三次市区町災害時相互応援協定締結
- 教育センター、少年センター(あすくる湖南)を設置
- 11月 市民憲章と市の木・花・鳥を決定

2007 (平成19年)
- 6月 市内初のまちづくり協議会(岩根まちづくり協議会)設立
- 9月 日本語初期指導教室「さくら教室」開設

2008 (平成20年)
- 5月 甲西駅前(駅南)広場整備工事完成
- 9月 ふるさときらめき湖南づくり寄付条例制定

2009 (平成21年)
- 1月 防災行政無線運用開始
- 7月 市道南部中央線開通

2010 (平成22年)
- 2月 みくも地域人権福祉市民交流センター完成
- 6月 甲西橋(市道甲西線)開通

2011 (平成23年)
- 7月 鳥取県北栄町と友好交流協定締結
- 8月 鳥取県北栄町と災害時相互応援協定締結
- 9月 国道1号石部大橋(側道部)開通(菩提寺~石部)
- 10月 北海道比布町と災害時相互応援協定締結

2012 (平成24年)
- 3月 市営住宅石部南団地完成
- 9月 地域おこし協力隊が発足

2013 (平成25年)
- 3月 岐阜県瑞浪市と災害時相互応援協定締結
- コナン市民共同発電所初号機発電開始

2014 (平成26年)
- 5月 都市計画道路三雲駅線開通
- 10月 湖南市市制施行10周年記念式典を挙行

2015 (平成27年)
- 6月 湖南市浄苑が開場

2016 (平成28年)
- 3月 国道1号栗東水口道路開通
- 栗東湖南インターチェンジ供用開始
- 11月 湖南市市民産業交流促進施設「ここぴあ」オープン

2018 (平成30年)
- 4月 市公式アプリ「こなんいろ」配信開始
- 7月 高知県室戸市・東洋町と観光交流協定締結
- 8月 奈良県王寺町と災害時相互応援協定締結
- 11月 湖南市電子図書館オープン

2019 (平成31年)
- 4月 湖南市魅力発信拠点施設「HAT」オープン

2020 (令和2年)
- 4月 甲西駅から平松のウツクシマツ自生地への連絡道路供用開始

2021 (令和3年)
- 4月 いしべ交流センター開館

2022 (令和4年)
- 6月 「銀座しのはら」店主 篠原武将さんを「湖南市ふるさと大使」に委嘱

2024 (令和6年)
- 4月 湖南市こども家庭センター「まるっと」開設
- 10月 湖南市市制施行20周年記念式典を挙行

湖南市 MAP

ACCESS

車で

東京	新東名高速道路 約5時間30分	竜王IC	約20分	湖南市
名古屋	名神高速道路 約1時間30分	竜王IC	約20分	湖南市
大阪	名神高速道路 約1時間15分	栗東・湖南IC	約20分	湖南市

電車で

東京	東海道新幹線 約2時間10分	京都駅	JR新快速 約20分	草津駅	JR草津線 約10分	湖南市
名古屋	東海道新幹線 約35分	京都駅	JR新快速 約20分	草津駅	JR草津線 約10分	湖南市
大阪	JR新快速 約55分			草津駅	JR草津線 約10分	湖南市

湖南市魅力発信拠点施設「HAT」

湖南市役所（西庁舎）

市民学習交流センター

湖南市役所（東庁舎）

ふれあいの館

市長ごあいさつ

～ずっとここに暮らしたい!みんなで創ろう きらめき湖南～の実現に向けて

湖南市長
松浦 加代子

湖南市は、南端に阿星山系、北端に岩根山を望む丘陵地で、まちの中央には清流野洲川が流れ、豊かな自然に恵まれています。古くは伊勢参宮街道、江戸時代には東海道五十三次の51番目の宿場「石部宿」、また近代では国道1号や名神高速道路などたくさんの人々が往来し、文化や産業が栄えてまいりました。高度成長期にはこの利便性を活かし工業団地や住宅開発が進み、まちは大きく発展してまいりました。

また本市は、全国に先駆けて取り組む乳幼児期から就労までを一貫して支援を行う「発達支援システム」や、「交流から理解へ」「理解から協働へ」「協働から創造へ」をめざす多文化共生のまち、内閣府から「SDGs未来都市」・環境省から「脱炭素先行地域」に選定されるなどさまざまな分野にも取り組み続けています。

これからも湖南市は未来を見つめ、誰一人取り残さない、笑顔あふれるまちとなるよう歩み続けます。

市民憲章

わたしたちは、悠久の野洲川の流れに沿った美しい郷土を愛し、先人が築いてきた文化や歴史に感謝して、活気と希望に満ちた、ゆたかで創造的なまちをつくるために、この憲章を定めます。

一、美しい水と緑を大切にし、自然と調和したまちをつくります。

一、たがいの人権を認めあい、思いやりのあるまちをつくります。

一、子どもが健やかに育ち、障がい者や老人をはじめ、
だれもが安心して暮らせるまちをつくります。

一、ゆたかな歴史を重んじ、香り高い文化のまちをつくります。

一、社会の規律を守り、安全で住みよいまちをつくります。

（平成17年11月20日制定）

湖南市歌

「のびゆく湖南市」

原作詞 井上久雄
補作詞 野呂昶 平賀胤壽 皆越美紀子
作・編曲 岩井直溥

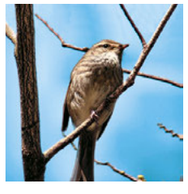
1. 水清らかな　野洲川の
瀬音やさしく　うたっている
鳴くウグイスの　声さやか
歴史と文化の　咲きにおう
われらの湖南市　きらめくまち

2. 四季鮮（あざ）やかな　山すその
田園ゆたかに　稔（みの）っている
うつくし松の　風涼し
湖南三山　仰（あお）ぎ見る
われらの湖南市　希望のまち

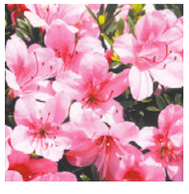
3. ひかり波打つ　海道（かいどう）の
先端ひらき　目ざましい
サツキの花の　色ゆたか
文化と産業　調和する
われらの湖南市　のびゆくまち

（平成21年10月4日制定）

市のシンボル

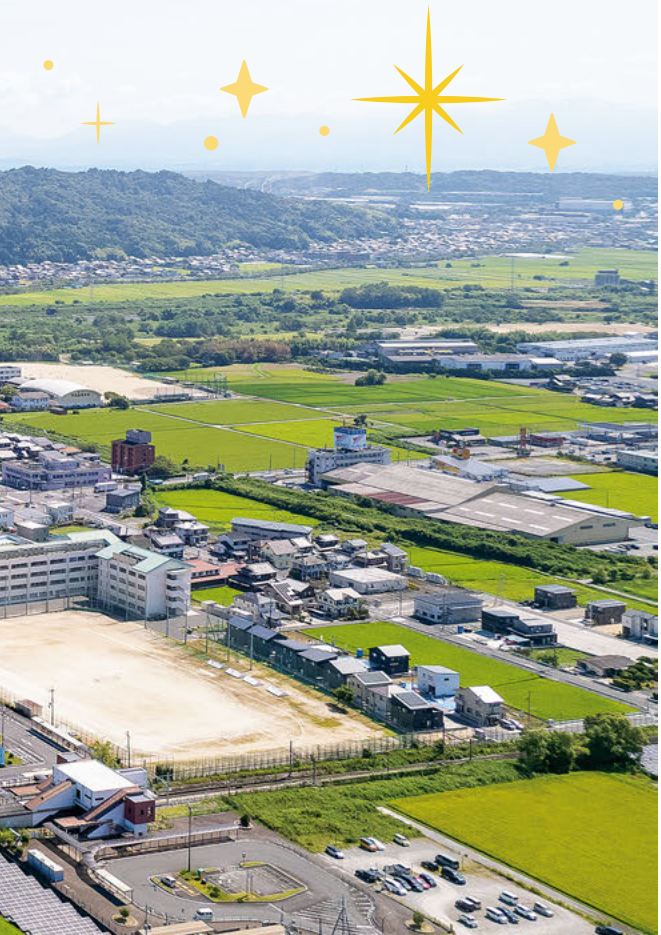


市の鳥
ウグイス
美しい声で、希望の春を告げる鳥。ウグイスの声を身近に感じられる自然環境を残していきたい。



市の花
サツキ
種類も多く、創造性につながるイメージがある。また、広く市民に親しまれてきた花でもある。

市の木
ウツクシマツ
国の天然記念物となっている「平松のウツクシマツ自生地」に生育する湖南市特有の松であり、独自性を表す。



発行年月：令和7年6月
発行：湖南市
〒520-3288滋賀県湖南市中央一丁目1番地
TEL：0748-72-1290（代表）
FAX：0748-72-3390
https://www.city.shiga-konan.lg.jp